

高等学校・特別支援学校学習指導要領改訂案について

日本地質学会

団体

東京都千代田区岩本町 2-8-15 井桁ビル内

電話 03-5823-1156

意見

・単位数等について

①理科で「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」のうちから3科目が必修となったのは、従前の2科目より大変喜ばしい。しかしながら、基礎の4科目が必修となるのが最も望まれる。なお、各高等学校で、生徒の希望に応じて、すべての基礎科目が実施されることを強く望む。高等学校卒業時にはすべての生徒が地球人としての科学リテラシーが身につけられるように、理科の教科は構成されるべきである。

②地理歴史のうち「地理A」及び「地理B」のうちから1科目も必修になることを強く望む。

・「地学基礎」について

①内容が従前のものと較べてストーリー性が増したことは喜ばしい。

②(2)ーイ-(イ)の「古生物の変遷と地球環境」は古生物の変遷と地球環境の変遷に深いつながりがあることを、グローバルな視野でとらえることができるような教育が望まれる。

③(2)ーエ-(イ)日本の自然環境についての内容の取り扱いでは、「また、自然災害の予測や防災にも触れること。」とコメントされているが、地球上の約1割の地震と活火山が存在する日本列島に生活している国民の地学リテラシーとして、新たに項目を設けるなどして、積極的にそれを盛り込んでいただくことを希望する。

④「探究活動」に野外観察、調査が明記されたことは喜ばしい。実際に教育現場で行われやすいような解説が望まれる。

・地学Iから「地学基礎」と「地学」への変更について

①地学Iで扱っていた「宇宙の構造」が地学基礎に移り、地学Iで扱っていた「恒星の性質と進化」が地学に移動している。一般に、生徒が興味を示すのは、惑星、恒星、星雲、超新星で宇宙の構造より恒星の進化であると思われるので、一貫してとりあつかえるような工夫を要望する。

・「地学」について

①内容が網羅的であるので、ダイナミックな生徒の思考力、判断力、表現力等がはぐくまれるよう、教科書や実際の授業が行われるように指導されたい。

②(2)ーア-(イ)地震と地殻変動において、近年大きな災害をもたらしている内陸地震についても盛り込まれたい。

③(2) - ア - (イ)地震と地殻変動において、地震だけでなくマグマの発生も地球内部の運動に密接に関連するので、付記されたい。

2009年1月21日